ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.188

発　行　日　　2019年９月30日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,582名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

とうとう身近に！私のコペルニクス的転回

公益社団法人　新潟県理学療法士会
副会長　社会職能局長　**中　山　裕　子**

会員の皆様、平素より士会の活動にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。先般６月の総会において新しく２名の方に理事に就任いただきました。また、副会長も一部交代し、新たに郷理事、髙鳥理事両名が副会長に就任いたしました。私を含め３名で会長の補佐を務めてまいります。副会長はそれぞれ事務局長、学術局長、社会職能局長を兼務いたします。部局の組織もより強力な体制で臨んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、表題の「私のコペルニクス的転回」（今風ではパラダイムシフトでしょうか）とは、脊髄損傷の治療についてのことです。私が駆け出しだった1990年頃、初めて担当させてもらった頸髄損傷完全麻痺の患者様に、先輩作業療法士がズバリ「現在の医療では切れた脊髄神経は治らない。それはよほど医療が進歩しても難しい。」との説明をしていたことを思い出します。当時私も養成校でそのように教わって卒業しましたし、臨床においてもそれが常識であると認識していました。しかし、そのよほど医療が進歩しても難しかったことが転換する時代がやってきたことは、すでに皆様ご存知のことと思います。札幌医大での急性期症例に対する脊髄間葉系幹細胞の静脈投与での治療は、昨年12月に厚労省から条件、期限付きながら承認が下りています。また、iPS細胞を用いた治療では慶應大学等を中心として亜急性期症例も対象としており、頸髄、胸髄損傷への臨床研究が進んでいます。また、慢性期への応用も期待されています。そこで、これを踏まえ、私たちは何をすべきなのかということになります。これまで行ってきたプログラムにとどまらず、神経細胞が再生されることを想定し、麻痺筋に対する電気刺激、歩行訓練それもロボットを使用した正常歩行により近い内容での展開等が考えられます。リハビリテーションは再生医療の治療中にも継続されます。その効果が再生医療によるものか、リハビリテーションによるものか判定するためにも、リハビリテーションの標準化が求められています。私たち理学療法士は科学の進歩に伴った治療を展開し、患者様にとって必要で正しい情報をお伝えする必要があると思います。脊髄損傷患者さん達の希望を共に叶えてゆけるように。

われわれ新潟県理学療法士会は職能団体であり、学術団体でもあります。今後も研修、学会開催を通しても皆様のお役に立つよう努力してまいります。どうぞ士会活動をご活用頂きますよう宜しくお願い申し上げます.

目　　次

とうとう身近に！私のコペルニクス的転回…… 1
職場紹介…… 2
リレーエッセイ…… 4
令和元年度 第40回通常総会議事録 …… 5
新潟県理学療法士会 組織図 …… 7
2019年度 第１回拡大理事会議事録 …… 8
2019年度 総会後理事会議事録 …… 11
生涯学習部ニュース…… 11
学術局生涯学習部だより…… 12
事務局ニュース…… 14
広報部ニュース…… 18
編集後記…… 18

職場紹介１

南魚沼市民病院

当院は魚沼地域の医療再編に伴い、40年以上の歴史のある、ゆきぐに大和病院とともに、南魚沼市立病院群として2015年11月に開院されました。

「私たちは、自然のうるおいの中で、人それぞれの、希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。」の病院理念に基づき、その人が望む生活が実現できるよう包括的なリハビリテーションおよび患者様中心のチーム医療を実践しています。リハスタッフはPT10名、OT６名、ST３名、助手２名が在籍しています。当院の特徴として一般急性期のみならず回復期リハビリ病棟のない魚沼地域において回復期におけるリハビリ目的の入院を積極的に受け入れ、退院前訪問やカンファレンス等を通じて多職種で共働し在宅復帰に力を入れています。また訪問・病院兼任スタッフ（PT３名、OT１名）を配置しており、急性期・回復期・生活期それぞれ切れ目のないリハビリテーションを提供しています。また介護予防事業である個別ケース会議や、市の子育て支援事業の一環である療育教室「遊びの教室」など行政事業にも参画しております。

地域連携を推進すべく南魚沼郡市のリハビリテーション関連施設で「南魚沼リハビリテーション連絡会」を設立し、研修会等を通して顔の見える関係づくりにも取り組んでおります。今後も市立病院として地域医療を推進すべく精進して参ります。

職場紹介２

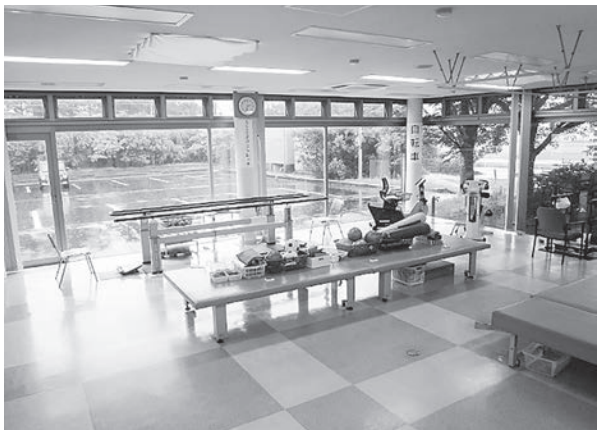
医療法人 愛広会 アクティブデイはすがた

当施設は、医療法人愛広会が運営する、北蒲原郡聖籠町にある半日型のデイサービスです。ご利用者様の年齢は50歳代から90歳代と幅広く、定員は午前午後で各25名ずつと少人数制なので、お互いに声をかけ合いながら、励まし、和気あいあいとした雰囲気で過ごされています。

当施設の特徴は、機能訓練に特化した半日型のデイサービスという点です。PT２名が在籍しており、集団体操、個別機能訓練プログラムの作成・実施、個別機能訓練などを提供しています。半日という短い時間ですが、集中して運動に取り組んで頂ける環境を整えています。個別機能訓練プログラムは、PTが一人一人の身体機能を評価し作成します。レッグプレスやエアロバイク、セラバンドやボールを使用した筋力トレーニング等、様々な運動メニューがあります。ご利用者様の生活環境、目標や意向に合わせて作成しますので、無理なく継続でき、介護予防に高い効果が発揮できると考えています。また、毎週金曜日に同法人の他施設からST１名が助勤で来ており、より専門性の高い認知・口腔機能訓練も提供しています。

当法人には、在宅サービスと入院・入所サービスがあり、各施設が連携することで、ご利用者様の身体機能や生活環境の変化にも切れ目なく対応することができる点も特徴の一つです。

今後も、ご利用者様の目線に立ち、ADL・QOL向上に向けて、質の高いサービスを提供できるように、スタッフ一同協力して頑張っていきたいと思います。



リレーエッセイ 1

「勉強中！」

あがの市民病院　**大　関　　奏**

最近、転勤があって実家に帰ってきたことをきっかけに料理をするようになりました。今までは一人暮らしだったので、面倒だなあと思いながら適当に食べられるものを作っていました。でも、今は家族の体調を気遣って栄養バランスを考えて食材を選んだり、味付けが濃くなりすぎないように気を付けています。家族も美味しい！と言って食べてくれるので不思議と面倒ではなくなりました。むしろ材料の切り方や火加減、調味料の使い方によって味や食感が変わるのでいろいろ試行錯誤することが実験みたいで楽しいです。また、患者さんからおすすめのレシピや料理のコツを教えてもらえるので、実際に作って感想を伝えたりすることでコミュニケーションの幅も広がっています。まだまだバリエーションが少ないので、様々なジャンルを作れるようになれたらいいなあと思います。

次回は、新潟臨港病院の杵淵みなみさんです。よろしくお願いいたします。

リレーエッセイ 2

「サイクリング」

上越地域医療センター病院　訪問リハビリテーション事業所　**入　村　隼　平**

私が最近はまっていることは、サイクリングです。２年前に知り合いから勧められて、ロードバイクを購入してから、自転車の魅力にはまってしまいました。ロードバイクの最大の魅力は、なんと言ってもその「スピード感を味わえる！」ことだと思います。人力では最速の乗り物と言われており、普通の自転車からロードバイクに乗り換えると、圧倒的なペダルの軽さとスピード感に衝撃を受けました。サイクリングに出かけるとあっという間に50kmや60kmも走ってしまうこともありました。きつい時もありますが、走っている時の爽快感や達成感はロードバイクだからこそ味わえるものだと思います。上越には、海沿いにサイクリングロードがあり、日本海の美しい景色を見ながら走ることもできます。ぜひ、皆さんも上越へ遊びに来て下さい。

次回は、さくらメディカル株式会社の加藤新之介さんです。よろしくお願いします。

令和元年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第40回通常総会議事録

1．総会の種類　第40回通常総会

1．開催場所　看護リハビリ新潟医療専門学校

1．開催日時　2019年６月16日（日）
14：50～16：01

1．総社員数　1,583名
出席した社員数　901名
内訳　本人出席　89名
委任状出席　812名

1．議長団選任の経過

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の通常総会は定款第19条に定める定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長および副議長の選任方法を諮ったところ満場一致をもって，それぞれ海津貴裕氏、金子功一氏が選任された。議長は、本会の書記および議事録署名人を誰にするのかにつき議場にこれを諮ったところ議長指名としたので議長は書記に田中優子氏、小田博美氏、議事録署名人を飯塚眞由美氏、本間智明氏を指名し、満場これを承諾した。その後議案の審議に入った。

1．議事の経過要領及び議案決議の結果

1．第１号議案　2018年度　総括事業報告案・決算・監査報告案に承認を求める件について

会長佐藤氏より本件に関わる説明がなされ、副会長中山氏、学術局長髙鳥氏、社会・職能局長五十嵐氏より2018年度総括事業報告後、財務部長堀川氏より2018年度決算報告、監事の太田氏より監査報告の説明がなされた。

議長は議場にこれを諮った処、質疑なく満場一致の賛成をもって議決された。

1．第２号議案　役員選挙結果に承認を求める件及び補充理事・監事に承認を求める件について

議長は2019年６月16日をもって理事、監事の全員が任期満了、退任する事になるので、その改選の件を付議したところ選挙管理委員会より理事佐藤成登志氏、松林義人氏、中山裕子氏、大野智也氏、飯田晋氏、郷貴大氏、深川新市氏、田中健氏、五十嵐進氏、柳保氏、堀川武範氏、棚橋泉氏、上路拓美氏、小林諭氏、髙鳥真氏。監事には佐藤雅浩氏、太田智英氏の立候補があり、定款細則５-⑫により無投票当選の報告がなされた。また、定数に満たない理事について理事会は定款細則５-⑥により、推薦補充し理事には、小川恵一氏、藤澤明彦氏、風間美子氏、立石学氏を指名した。なお、退任される理事は大島治氏、高井良明氏である。議長が議場に諮ったところ満場異議無く可決決定した。尚、被選任者は全員その就任を承諾した。

理　事　佐藤成登志、深川　新市、五十嵐　進、
中山　裕子、髙鳥　真、田中　健、
立石　学、飯田　晋、郷　貴大、
松林　義人、大野　智也、上路　拓美、
堀川　武範、風間　美子、柳　保、
棚橋　泉、小林　諭、小川　恵一、
藤澤　明彦

監　事　太田　智英、佐藤　雅浩

報告事項

1．2019年度　事業計画・予算（案）について会長佐藤氏、副会長中山氏より本件に関わる説明がなされ、財務部長堀川氏より予算案について説明がなされた。

質疑１．山田氏より

第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会について、PTとPT以外で縦割りになっている印象あり。OT、STの演題が少ない。運営のコンセプトを知りたい。

応答１．佐藤氏より

同一の場所で３団体が一緒に行うことが重要。OT、STは県学会を別に実施済みとなるため、多くの演題を学術大会に出すことが困難。PTは新人教育プログラムも同時開催のためスケジュールを縦割りにせざるを得ない。特別講演は合同で行う。

質疑１．山田氏より

第28回県学会と併設ではないのか。

応答１．髙鳥氏より

あくまで第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会であり、第28回県学会とは別。

質疑１．三村氏より

第１回新潟県リハビリテーション専門職学術大会について、PT、OT、STが分かれているが一緒の方が良いのではないか。訪問リハはPT、OT、STにまたがって行われている。

応答１．髙鳥氏より

PT、OT、STそれぞれの士会で財政規模が違う。協議をしながらこの形となった。どこの会場でも自由に行き来できる。

以上をもって第40回通常総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し16時01分散会した。

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

㈱ G・T・B (オーエックス新越)

〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

有限会社 長谷川義肢製作所

〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電 話 (025) 223-3630
FAX (025) 222-2750

HII 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所

〒950-0086 新潟市中央区花園 2-2-7
TEL:025-240-0003 FAX:025-241-6655
URL: http : //www.hi-college.ac.jp

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。

㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL : (025) 281-0303
FAX : (025) 281-0339
田村義肢 検索

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL (025) 381-2000㈹
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
医療関係印刷物はタカヨシて http://www.takayoshi.co.jp

2019・2020年度　公益社団法人新潟県理学療法士会　組織図

顧問　遠藤　直人（新潟大学）
相談役　小林　量作（新潟リハビリテーション大学）

会　長
佐藤　成登志
（新潟医療福祉大学）

副 会 長
郷　貴大
（看護リハビリ新潟保健医療専門学校）
髙鳥　真
（晴陵リハビリテーション学院）
中山　裕子
（新潟中央病院）

監　事
佐藤　雅浩　（社会福祉法人　やまびこ）
太田　智英　（厚生連上越総合病院）

委員会
- ブロック運営委員会
  - 上越ブロック ― 生涯学習担当　地域包括ケア担当／公益事業担当　災害対策担当
    （山本典子　上越地域医療センター病院）
  - 中越ブロック ― 生涯学習担当　地域包括ケア担当／公益事業担当　災害対策担当
    （諏訪和彦　長岡赤十字病院）
  - 下越ブロック ― 生涯学習担当　地域包括ケア担当／公益事業担当　災害対策担当
    （松本香好美　あい・いからしの郷）
- 表彰委員会（中山裕子　新潟中央病院）
- 倫理委員会（郷　貴大　看護リハビリ新潟保健医療専門学校）
- 学会準備委員会（髙鳥　真　晴陵リハビリテーション学院）
- 地域活動推進委員会（深川新市　総合リハセンターみどり病院）
- 災害対策委員会（小野塚智紀 県立中央病院　）
- 障がい児・者支援委員会（剱物　充　新潟市民病院）
- 政治参加検討委員会（五十嵐　進　はーとふるあたご坂井東）

事　務　局　局長　郷　貴大（看護リハビリ新潟保健医療専門学校）
- 総　務　部　部長　風間　美子（県立十日町病院）／副部長 藤澤　明彦（県立柿崎病院）
- 厚　生　部　部長　風間　美子（県立十日町病院）／副部長 藤澤　明彦（県立柿崎病院）
- 財　務　部　部長　堀川　武範（厚生連豊栄病院）／副部長 小林　諭（厚生連小千谷総合病院）
- 広　報　部　部長　松林　義人（新潟リハビリテーション大学）

学　術　局　局長　髙鳥　真（晴陵リハビリテーション学院）
- 生涯学習部　部長　田中　健（桑名病院）
- 学術誌部　部長　立石　学（新潟リハビリテーション病院）

社会・職能局　局長　中山　裕子（新潟中央病院）
- 地域包括ケアシステム推進部　部長　大野　智也（押木内科神経内科医院）／副部長 棚橋　泉（高齢者総合福祉相談センター福住）
- 就業支援部　部長　上路　拓美（新潟大学医歯学総合病院）
- 公益事業部　部長　柳　保（厚生連柏崎総合医療センター）
- 保　険　部　部長　柳　保（厚生連柏崎総合医療センター）
- 渉　外　部　部長　小川　恵一（看護リハビリ新潟保健医療専門学校）
- スポーツ活動支援部　部長　飯田　晋（厚生連新潟医療センター）

選挙管理委員会
早津　敏彦（県立中央病院）
玉虫　俊哉（上越地域医療センター病院）

評決機関組織
総　会
理事会

三役局長会議
佐藤　成登志　郷　貴大
髙鳥　真　中山　裕子

飯田　晋　五十嵐　進
小川　恵一　大野　智也
風間　美子　小林　諭
上路　拓美　立石　学
田中　健　棚橋　泉
深川　新市　藤澤　明彦
堀川　武範　松林　義人
柳　保

（公社）日本理学療法士協会
2018・19年度代議員
郷　貴大
佐藤　成登志
髙鳥　真
中山　裕子
松林　義人
柳　保

2019年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第１回拡大理事会議事録

日　時：2019年４月13日（土）　13：00～18：10
場　所：（公社）新潟県理学療法士会事務局
出席者：理事　佐藤（成）、深川、中山、五十嵐、
郷、髙鳥、堀川、小林、松林、棚橋、上路、
飯田、高井、大野、大島
監事　佐藤（雅）、太田
ブロック長　山本、諏訪、松本
委員長　小野塚、剱物
欠　席：相談役 小林
理事　田中、立石、柳、風間

議題

①2018年度総括事業報告

会長報告

・会員・社会のニーズに沿う県士会づくりのため７つのシステム構築を進めた。
・2018年度は５つの重点課題項目とし、2019年度も継続したい。
・上中下越の管理者ネットワーク構築は進んでいるが未だ不十分である。
・６団体で協議会を設立し、10市町村の地域ケア会議に参画。
・保険関係の情報共有、スポーツ関連事業、就業支援など進めることができた。

理事会承認

副会長報告

・副会長行動を報告

理事会承認

（総務部）
・会員数1522名、内、自宅会員138名である。概ね問題なく進められた。

（厚生部）
・祝電５件
・新人歓迎会は111名の参加があった。
・ブロック懇親会　上越は22名、中越は35名であった。

（広報部）
・次第の通り事業を進めた。

（生涯学習部）
・予定通りの研修を開催した。

（学術誌部）
・理学療法新潟の編集を進めた。
・学会で過去最高49演題発表があった。

（スポーツ活動支援部）
・２月16日に赤十字短期救急法研修会を開催した
・３月18日から21日に第５回全日本ジュニア水泳競技選手権大会のコンディショニングサポートを実施。選手121名に実施。柏崎市からも感謝の言葉を頂けた。
・2020オリ・パラの登録者を推薦。個人へ直接連絡がある予定。

（地域包括ケアシステム推進部）
・訪問リハビリテーション実務者研修会に51名参加があった。
・新潟県介護予防活動普及展開事業では助言者育成の基金研修を実施。10市町村のケア会議へ派遣した。
・リーダー研修、専門研修を開催した。

（就業支援部）
・研修会については今後検討し進める。

（公益事業部）
・予定通りに進めた。

（保険部）
・問合せに対応した。
・協会職能課から返戻事例アンケートがあったが、協会はその対応はしないとのこと。

（渉外部）
・応援カード回収率　会員数1697名（休会含む）で37.9%（４月７日付）と未だ不十分。
５月連休明けに最終報告。

理事会承認

（ブロック事業部：会長）
・本日午前に管理者ネットワークの上越ブロックを５つの区域に分け暫定リーダーを決めた。
・中越・下越ブロックを区域に分け暫定リーダーを決めた。
・管理者を集めた研修会等を今年度中に開催したい。
・今後リーダー候補へ依頼をかける。

（ブロック事業部：上越ブロック）
・事業は予定通り実施。
・田中まさし先生との意見交換会を実施。
・管理者ネットワークがおおよそ出来、活用している。

（ブロック事業部：中越ブロック）
・事業は予定通り実施。
・３月22日に中越ブロック交流会を開催、36名参加。

（ブロック事業部：下越ブロック）
・地域包括ケアシステム推進部交流会は８名参加。

・管理者ネットワークの構築を進めている。
理事会承認
（災害対策委員会）
・予定通りに進めた。
（地域活動推進委員会）
・基金研修はPOSから各２名実行委員を選出し研修会を４事業開催した。後日、予算書・請求書を発行する。
・７月に県より派遣調整事業依頼があり、６団体の協議会を設立。長岡で研修会を開催した。
・新年度向け県と新契約を結んだ。
理事会承認
（障がい児・者支援委員会）
・予定通り進めた。
・新潟県小児理学療法マップをHP掲載。
（学会準備委員会）
・新潟県リハビリテーション専門職学術大会を12月14日・15日に朱鷺メッセで開催予定。
・開会式には県知事、新潟市長、小川議員、田中氏を招きたい。
・特別講演は県福祉保健部副部長の山崎氏、シンポジウムは６職種（県内の薬剤師会、栄養士会、歯科衛生士会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会）から選出しPT士会の候補は棚橋氏。セミナーはPT士会は未定。企業展示は、賛助会員無料、賛助会員以外は１ブース３万円とする。
・主催団体名に新潟県リハビリテーション専門職協議会とPT士会、OT士会、ST士会の４団体としたい。
・新潟県リハビリテーション専門職協議会（リハ職協議会）にもシンポジウム開催に対する費用負担をお願いしたい。これは同協議会で検討していく。
・担当者から財務上の問題の懸念があったが、財務部からは支払い按分によるとのこと。
・「リハ職協議会」が支払い、各士会へ按分するのはどうか提案があった。
・会員外の参加費の扱いも検討課題である。
・支出の按分の比は会員数に応じてと意見があった。
・共同で使ったものはリハ職協議会が支払い（PT士会が立て替え払い）、後に３士会で会員数に応じ按分する。
・諸謝金の支出はリハ職協議会とする。
・諸謝金に伴う税金は規約をつくり税務署で「番号」をもらい登録を進めていく。
理事会承認
（倫理委員会）
・予定通り進めた。
（表彰委員会）
・協会賞は申請済みで、返答はまだ届いていない。
理事会承認
②2018年度決算報告
・財務部より、2018年度決算報告があった。
・当期一般正味財産増減額¥2,830,384（昨年¥184万）
・上記から¥200万分を積み立て¥265万。50周年記念事業に準備する。
・会費納入状況で未収会費入金13名（¥130,000）、会費減免10名（￥30,000）、受取会費は¥15,568,000であった。未払い金は総務部の¥135,590であった。期末決算執行率87.4%であった。
理事会承認
③2018年度監査報告
・監査より報告があった。
・執行状況87%。計画通りに実施されていた。
・活動費請求は科目ごとに請求書を作成すること。１枚１科目とする。
・公益事業部で払い出し漏れが１件あった。
・各事業の決算書・請求書について、領収書には名前を記載すること。
理事会承認
④その他
（事務局）
・事務員雇用契約について勤続年数に応じ有給が発生する。時間給を許可し今年度より適用する。時間給の上限は事務局で検討し理事メールでの確認とする。
・無期雇用契約への対応について社会保険労務士などへの相談および次年度以降の契約を検討していく。
理事会承認
（学術局）
・臨床実習指導者研修会を２回予定している。今年度は学術局で進める。
・会長からPT・OT合同で可能だが、まずPTで進める。
・今年度は長岡９月21日・22日、新潟２月15日・16日で日程、講師、ファシリテーターを決め実施。臨床の方は県士会から費用を支出することとする。
・長岡会場の日程は各養成校の都合悪く変更。今後決定する。
・学校協議会を設立する。黒沢先生から連絡あり新潟医療福祉大学を日本リハ学校協会との連絡校とした。今後、各学科長クラスで集まり検討していく。
理事会承認

3、協議事項
①各部局より今後の活動について
（広報部）
・HP更新、商標登録が進みバッジ作製予定。
（生涯学習部）
・講習会２本増やす。内、３本が助成金対象（計18万）である。
・遠隔システムを試行する。厚生連佐渡総合病院のLAN環境は確認を要す。
（学術誌部）
・学会誌は作成せずPDFでHP上配布。
・優秀賞表彰は総会で行う。
（地域包括ケアシステム推進部）
・リーダー研修を総会前の５月に実施予定。指定事業を受ける前でも問題ない。
（公益事業部）
・高校生の見学事業は各施設で随時対応して頂く。OT・ST士会は各士会HPで受入れ施設を広報し、高校へはST士会が案内する。PT士会では受入れ施設をまとめる作業が難渋するためHPへの掲載は検討していく。
（渉外部）
・応援カード達成率は増えたが未だ不足。返送しない施設は電話しても難しい。電話は中断し文書にする。以前は直接施設へ受け取りに行っており、そのくらいしないと回収は難しい。しかし、直接の訪問は現状難しい。そのため全施設の部門長に依頼分を送付する。休会者へも個人宛に送付し５月７日締め切りとする。
（地域活動推進委員会）
・次第通り進める。３名を大分へ派遣予定。６職種の研修会の日時、会場、内容を今後決定。
（表彰委員会）
・７名表彰予定。
・会長は退任時の翌年に表彰することは確認した。
（障がい児・者支援委員会）
・アンケートの返送期限を延長する。
理事会承認
②2019年度総会について
・定款変更等はないため半数（出席、委任状）でよい。
・委任状の電子化を今回から行う。（前回議事録では、各個人が事務局へメールで提出。）
・佐渡は今回から遠隔システムを導入。システムトラブルに備えて、資料を事前に送ることを検討する。遠隔システムがあることを大淵講師には事前に承諾を得ておく。
理事会承認
③役員改選について
（佐藤会長）
・理事補足を理事会でできる。
・推薦候補者として立石学、風間美子、藤澤明彦、小川恵一をあげる。
・全会一致で承認された。
④その他
（佐藤会長）
・遠隔会議システムは無料でよければよいが、有料４社を試行しながら検討する。
（事務局）
・ゆきわり草事務局ニュースで会員名の掲載は入会時の掲載可否を確認。それ以外の掲載は今後検討する。
・学校保健事業の協会の窓口について、新潟リハ病院の先生がよいとの意見があった。また県士会の窓口部局としてスポーツ活動支援部がよいとされた。
（新潟県地域活動推進委員会）
・助言者育成に30万円がでる。
・地域包括ケアシステム推進部へ委託する。
（佐藤会長）
・2019年度、2020年度の県士会組織図案について説明。
（中山副会長）
・顧問の遠藤教授は今年度で退官。次年度は、新大次教授に顧問を依頼予定。
（監査）
・今後、県士会で元号の使用は西暦と併用する。印刷物は元号を入れない。
（佐藤会長）
・理事会に書記をいれていきたい。
（財務部）
・政治参加検討委員会の予算は渉外部に含む。
理事会承認

次回理事会　2019年６月16日（日）10：00～
看護リハビリ新潟保健医療専門学校

2019年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
総会後理事会議事録

日　時：2019年６月16日（日）　16：05～16：15
場　所：看護リハビリ新潟保健医療専門学校
　　４階会議室
出席者：佐藤成登志、深川新市、五十嵐進、郷貴大、
　　風間美子、堀川武範、大野智也、上路拓美、
　　髙鳥真、立石学、飯田晋、柳保、小川恵一、
　　中山裕子、藤澤明彦、小林諭
　　監事　太田智英
欠　席：田中健、松林義人、監事：佐藤雅浩

上記のとおり理事の出席があったので、理事　佐藤成登志は選ばれて議長となり、ただちに下記議案の審議に入った。

議　案：会長、副会長の選定について
　議長は、本理事会に先立ち行われた社員総会において、理事19名が新たに選任されたため、当会社の会長、副会長を選定したい旨述べ、慎重に審議した結果、全員一致をもって右記の者を選定した。なお、被選定者は全員その就任を承諾した。

記

会　長　佐藤 成登志

副会長　中山 裕子

副会長　郷　貴大

副会長　髙鳥　真

2019年６月16日
公益社団法人新潟県理学療法士会　理事会

理事　佐藤成登志	深川　新市	中山　裕子
	五十嵐　進	髙鳥　真
	立石　学	郷　貴大
	飯田　晋	小川　恵一
	風間　美子	棚橋　泉
	大野　智也	藤澤　明彦
	堀川　武範	柳　保
	上路　拓美	小林　諭

監事　太田　智英

以上

学術局　生涯学習部ニュース

生涯学習部長　**田　中　　健**

６月16日に開催されました、第106回研修会及び2019年度定期総会を、Webシステムをもちいて厚生連佐渡総合病院にて開催いたしました。この取り組みは、新潟県理学療法士会2019年度事業計画にもありますように、遠隔地におけるシステム構築の一貫としておこないました。事前準備、前日準備をおこなうことにより、大きな問題もなくスムーズに開催することができました。この成功を今後も活かし、各地域のブロック長と連携し、Webシステムを用いた研修会の開催を企画していきたいと考えております。

学術局生涯学習部だより

学術局長　**髙　鳥　　真**
生涯学習部長　**田　中　　健**

会員の皆様には平素より学会・研修会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

各地では大雨に対する警戒が伝えられています。夏の猛暑に加え災害に対する危機管理にも気が抜けないところですが、新人教育プログラム履修中の皆様におかれましては新プロの進行状況は如何でしょうか。新人教育プログラムについては、漏れなく受講することで年度内に修了する（最短1年）ことが可能です。新生涯学習システムの導入も迫ってきております。どうぞ、受講漏れのないよう開催情報に注意して受講して下さい。

さて、下記のごとく第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会開催に向けて準備委員一同鋭意準備を進めているところです。どうぞお楽しみに！

■会　　期：2019年12月14日（土）・15日（日）
■会　　場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
■学会テーマ：「連携」から「連動」へ
■大　会　長：佐藤成登志　（新潟県理学療法士会会長）
■準備委員長：髙鳥　真（新潟県理学療法士会）
■準 備 委 員：中山裕子（新潟県理学療法士会）　児玉信夫（新潟県作業療法士会）
　　門脇　高（新潟県作業療法士会）　堂井真理（新潟県言語聴覚士会）
　　遠藤直人（新潟県言語聴覚士会）　小林　航（新潟県言語聴覚士会）
■主なプログラム：特別講演、シンポジウム、セミナー、一般演題発表、新人研修、機器展示など

新生涯学習システムについて

過日よりご案内させていただいています日本理学療法士協会の新生涯学習システムは、**2021年4月**から実施になります。新プロ未修了会員は、2020年度末までに、新人教育プログラムを修了して下さい。新プロを修了することで、新制度にスムーズに移行できます。マイページでポイントを確認し、県士会研修会や協会eラーニングを受講して下さい。

今後、協会から詳しい制度の概要など説明があります。協会、県士会からの郵送物を十分ご確認いただき、各自マイページで現在の生涯学習の履修状況を把握して下さい。

臨床実習指導者講習会について

公益社団法人新潟県理学療法士会では、理学療法士・作業療法士学校養成施設指定規則改正に伴い、臨床実習指導を実施するにあたり受講が義務化された臨床実習指導者講習会を公益社団法人日本理学療法士協会の指導のもと開催いたします。これは単に養成校における実習施設確保のための取り組みではなく、臨床実習指導における教育の質の向上を図り、もって県民の医療・福祉の発展に寄与することを目的に実施いたします。

会員の皆様におかれましては、ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上多数ご参加いただきたくご案内申し上げます。

＊本講習会は経験年数に関わらずどなたでも受講可能です。ただし、実際の指導者として学生の指導にあたるには理学療法士免許を受けた後5年以上の実務経験が必要になります。

＊臨床実習指導者要件は、2020年度に入学する学生の評価実習がはじまる2021年4月1日以降からの適応となります。

県士会主催研修会今後の予定

	研修会	テーマ/講　師	日　程	会　場
10月	理学療法士 講習会基本編②	「介護予防としてのロコモ対策、フレイル対策の実際　～地域包括ケア活動マニュアルの活用～」 講師：小林量作先生（新潟リハビリテーション大学）／ 高野義隆先生（新潟リハビリテーション病院）	10月20日	新潟市内予定
11月	新人研修会 下越ブロック	新プロＡ１～５・協会指定管理者研修（初級） 講師：理事　他	11月17日	新潟医療福祉大学
12月	理学療法士 講習会応用編②	「非特異的腰痛に対する理学療法の理論と実際」 講師：佐藤成登志先生・ 神田賢先生（新潟医療福祉大学）	12月7・8日 二日間開催	新潟医療福祉大学
	第1回新潟県リハビリテーション専門職学会	テーマ：「連携」から「連動」へ 大会長：佐藤成登志	12月14・15日 二日間開催	朱鷺メッセ
2020年1月	第107回研修会	調整中	調整中	調整中
2月	理学療法士 講習会基本編③	循環器疾患の理学療法の基礎 講師：椿　淳裕先生（新潟医療福祉大学）	2月1・2日 二日間開催	新潟医療福祉大学
	臨床実習指導者 講習会	臨床実習指導者講習 講師：県内養成校教員　他	2月15・16日 二日間開催	新潟医療福祉大学
3月	理学療法士 講習会応用編	「徒手的理学療法－骨盤帯・下肢の評価治療とクリニカルリーズニング－」 講師：藤縄　理先生（福井医療大学）／ 荒木　茂先生（石川県立いしかわ特別支援学校自立活動部）	3月7・8日 二日間開催	新潟労災病院

詳細につきましては、県士会HPをご確認ください。

☆研修会ポイント認定について

遅刻や早退はポイント認定にならない場合がありますのでご注意ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！　研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。

原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。 ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

○研修会DVDの貸出しについて

木戸病院　　江川　真司　　E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○生涯学習（研修会･ポイント）関連のお問い合わせ

桑名病院　　田中　　健　　E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ

新潟リハビリテーション病院　　立石　　学　　E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ

晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　　真　　E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

事務局ニュース

「会員の動き」については、個人情報が含まれているため掲載しておりません。

【施設名称変更】

・ 済生会新潟第二病院　→　済生会新潟病院

【育児休暇割引】

・1名

2　他士会関係

①ニュース（他県士会）

北 海 道　No.217 No.218
広 島 県　No.257
熊 本 県　第130号
富 山 県　第153号
大 阪 府　第273号 第274号
秋 田 県　第188号
愛 知 県　No.193
滋 賀 県　No.213 No.214
東 京 都　No.210
群 馬 県　No.138
静 岡 県　No.173 No.174
長 野 県　No.67
神奈川県　No.279
京 都 府　No.280

②学術誌・学会誌

秋田県理学療法VOL.26　NO.1，2019
理学療法沖縄2018 VOL.20
理学療法湖都第38号（滋賀県士会）
理学療法研究・長野No.47 2018年度
第23回静岡県理学療法士学会誌
理学療法の臨床と研究NO.28 2019（広島県士会）
理学療法いばらきVol.23 2019
第33回和歌山県理学療法学術大会 大会誌
理学療法―臨床・研究・教育第26巻（埼玉県士会）
理学療法学VOL.46,No.2 No.3 2019
第70回北海道理学療法士学術大会 プログラム集

③その他

平成30年度　患者のための薬局ビジョン推進事業報告書（公益社団法人新潟県薬剤師会）
「精神障害者の地域生活支援に係る、介護支援専門員・介護福祉士等に対する講義・演習及び実践基礎研修」実施要綱等資料編（日本介護支援専門員協会）
精神障害者の地域生活支援に係る、介護支援専門員・介護福祉士等の研修ニーズに関する調査報告書（一般社団法人日本介護支援専門員協会）
陽光No.23（公益社団法人新潟県健康づくり財団）
福島県理学療法士会設立50周年記念誌
平成30年度地域保健総合推進事業報告書
平成30年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）「地域におけるリハビリテーションの活用促進を目指した調査研究事業」調査報告書
REGAC　VOL.09（広島県士会広報誌）
QOLサポーター新潟No.49（新潟医療福祉大学）
平成29年度フレイル克服プロジェクト事業実施報告書
JPTANEWS No.318　No.319
No Limit Vol.77
next STage 第72号（新潟県言語聴覚士会）

3　異動・休会・復会・退会の手続きについて

異動（休退会含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。

休退会、転出については、年会費の未納がある場合はお手続きが出来ません。納入確認後にお手続きをお願いします。※マイページID、パスワード紛失の場合は日本理学療法士会TEL:03-6804-1421へお問合せ下さい。

＜自宅会員へのお願い＞

現在、施設に所属していて自宅会員で申請している方へお願いです。

所属施設でまとめて郵送物を受け取れますよう自宅から施設への変更手続きを協会マイページよりお願い致します。

［問い合わせ］

〒950-0912　新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
公益社団法人　新潟県理学療法士会　事務局　宛
TEL：025－250－7660　FAX：025－250－7661
（電話対応は月曜～金曜の9：00 ～ 16：00）
E-mail：jimukyoku@nipta.jp

広報部ニュース

メールマガジン（メルマガ）への登録をお願いします。

当士会では、会員への迅速な情報発信と、ペーパーレス化の実現に向けて、メルマガでの情報発信に移行する準備をしています。

ホームページ右下の「メルマガ登録」をクリックしていただき、氏名・会員番号・メールアドレスを入力していただくだけで、とても簡単できます。メルマガは会員に限定した情報を発信するため、入力の際はお間違えのないようにお願いいたします。

（※会員であることが認証できない場合は、メルマガの配信を停止いたします。）

ご協力をお願いします。

ホームページ：http://nipta.or.jp

編集後記

この原稿を編集している８月上旬は猛暑が続いており、熱中症によるニュースが毎日のように流れています。ゆきわり草No188号が皆様のお手元に届くころには、秋らしい季節となっているのでしょうか。これだけ猛暑が続くと、冬は豪雪・大雪となるのか、それとも小雪なのでしょうか。局地的な豪雨等もあり、今後地球の環境は一体どうなっていくのでしょうか。少子高齢化とともに、地球環境も気になる今日この頃です。　（Y）

ゆきわり草　No.188

編集責任者　松　林　義　人

問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp